

# 請求書データのアーカイブ設定方法

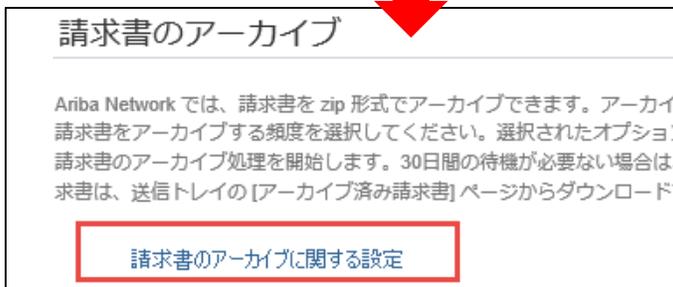


① アribaネットワークのホーム画面で、画面上部の画面右上の管理者名のアイコンをクリックしてメニューを開き、「設定」⇒「電子請求書ルーティング」を選択してください。

② 「タックスインボイスおよびアーカイブ」タブの請求書のアーカイブのセクションで、「請求書のアーカイブに関する設定」をクリックしてください。

③ 1週間に1回、2週間に1回、月に1回 のいずれかをクリックして、アーカイブの頻度を決定します。30日待たずにアーカイブを行う場合、[すぐにアーカイブ]を選択し、[開始]をクリックします。

注) 開始をクリックした後でも、アーカイブ処理の[停止]と[頻度の更新]が可能です。



### 請求書のアーカイブ

完了

Ariba Network では、請求書を zip 形式でアーカイブできます。アーカイブされた zip ファイルは、データ保存サービスの対象ではなく、3か月後に削除されます。請求書をアーカイブする頻度を選択してください。選択されたオプションを基に、Ariba Network は30日間待機して該当するすべての請求書詳細を収集してから、請求書のアーカイブ処理を開始します。30日間の待機が必要ない場合は、[すぐにアーカイブ] チェックボックスにもチェックを付けてください。アーカイブ済み請求書は、送信トレイの [アーカイブ済み請求書] ページからダウンロードできます。

1日に2回  1週間に1回  
 1日に1回

2週間に1回  
 月に1回

アーカイブ開始時刻: | : |  AM  PM US/Pacific ①

すぐにアーカイブ

アーカイブ済み請求書ファイルを、ダウンロード待ち行列に送信します。  
 アーカイブ済み請求書ファイルを、アーカイブの配信先 URL に送信します。

アーカイブの配信先 URL:

# アーカイブ済み請求書の手動ダウンロード

アーカイブ済み請求書は、「送信トレイ」の「アーカイブ済み請求書」より手動でダウンロード可能です。  
請求書データはZIPファイルで保存され、cXML形式のデータとなります。  
アーカイブデータの保存期間は3か月間となり、3か月を経過したデータは自動で削除されます。

The screenshot shows the SAP Ariba Network interface. The '送信トレイ' (Outbox) menu is open, highlighting 'アーカイブ済み請求書' (Archived Invoices). Below the menu is a table of archived invoices with columns for '開始' (Start), '終了' (End), '配信状況' (Delivery Status), '配信日' (Delivery Date), '配信失敗の理由' (Reason for Delivery Failure), and 'アクション' (Action). The 'アクション' column for the first row has a 'ダウンロード' (Download) button highlighted with a red box.

開始 ↓	終了	配信状況	配信日	配信失敗の理由	アクション
2019年7月21日	2019年7月21日	成功	2019年11月28日		ダウンロード 再送信
2019年7月20日	2019年7月21日	成功	2019年7月21日		
2019年7月20日	2019年7月20日	成功	2019年7月20日		
2019年7月19日	2019年7月20日	成功	2019年7月20日		

The screenshot shows a WinRAR window displaying the contents of a ZIP archive. The files are listed in a table with columns for 'Name', 'Size', and 'Packed Type'. A file named '2018\_07\_28\_AN01397273307-T\_INV\_INV\_PO1080\_1\_FromJP\_ToJP.xml' is highlighted with a red box. A yellow arrow points from this file to the XML data shown in the next block.

Name	Size	Packed Type
2018_06_28_AN01397273307-T_INV_INV_C211_11_FromJP_ToJP.xml	5,561	1,362 XML Document
2018_06_28_AN01397273307-T_INV_INV_C211_11_FromJP_ToJP_history.txt	210	150 Text Document
2018_06_28_AN01397273307-T_INV_INV_C211_11_FromJP_ToJP_Processing	0	2 File
2018_06_28_AN01397273307-T_INV_INV_C211_12_FromJP_ToJP.xml	5,329	1,354 XML Document
2018_06_28_AN01397273307-T_INV_INV_C211_12_FromJP_ToJP_history.txt	210	150 Text Document
2018_06_28_AN01397273307-T_INV_INV_C211_12_FromJP_ToJP_Processing	0	2 File
2018_07_02_AN01397273307-T_INV_INV_PO1079_3_6_FromJP_ToJP.xml	5,411	1,336 XML Document
2018_07_02_AN01397273307-T_INV_INV_PO1079_3_6_FromJP_ToJP_history.txt	52	52 Text Document
2018_07_02_AN01397273307-T_INV_INV_PO1079_3_6_FromJP_ToJP_Processing	0	2 File
2018_07_28_AN01397273307-T_INV_INV_PO1080_1_FromJP_ToJP.xml	5,409	1,337 XML Document
2018_07_28_AN01397273307-T_INV_INV_PO1080_1_FromJP_ToJP_history.txt	52	52 Text Document
AN01397274113-TANID	0	2 ANID File

The screenshot shows the XML data extracted from the ZIP file. The XML is in cXML format and contains invoice details. A yellow arrow points from the highlighted file in the previous block to this XML data.

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!DOCTYPE cXML SYSTEM "http://xml.cxml.org/schemas/cXML/1.2.038/invoiceDetail_dtd">
<cXML payloadID="1530519653574-6772162177097041880@216.109.111.73" timestamp="2018-07-02T01:20:53-07:00">
  <Header>
    <From>
      <Credential domain="NetworkID">
        <Identity>AN01397274113-T</Identity>
      </Credential>
    </From>
    <To>
      <Credential domain="NetworkID">
        <Identity>AN01397273307-T</Identity>
      </Credential>
    </To>
    <Sender>
      <Credential domain="NetworkID">
        <Identity>AN0100000001</Identity>
      </Credential>
      <UserAgent>Supplier</UserAgent>
    </Sender>
  </Header>
  <Request>
    <InvoiceDetailRequest>
      <InvoiceDetailRequestHeader purpose="standard" operation="new" invoiceID="INV_PO1080-1" invoiceDate="2018-07-28T23:59:59+09:00">
        <InvoiceDetailHeaderIndicator/>
        <InvoiceDetailLineIndicator isTaxInLine="yes"/>
      </InvoiceDetailRequestHeader>
      <InvoicePartner>
        <Contact role="billTo">
          <Name xml:lang="ja">たばこ事業本部</Name>
          <PostalAddress>
            <Street>島/PI2-2-137ビル</Street>
            <City>港区</City>
          </PostalAddress>
        </Contact>
      </InvoicePartner>
    </InvoiceDetailRequest>
  </Request>
</cXML>
```

# アーカイブ済み請求書の自動保存

「アーカイブ済み請求書ファイルを、アーカイブの配信先URLに送信する」を選択した場合は、配信先URLにアーカイブデータを自動送信することが可能です。

請求書のアーカイブ

Ariba Network では、請求書を zip 形式でアーカイブできます。アーカイブされた zip ファイルは、データ保存サービスの対象ではなく、3 か月後に削除されます。請求書をアーカイブする頻度を選択してください。選択されたオプションを基に、Ariba Network は30日間待機して該当するすべての請求書詳細を収集してから、請求書のアーカイブ処理を開始します。30日間の待機が必要ない場合は、[すぐにアーカイブ] チェックボックスにもチェックを付けてください。アーカイブ済み請求書は、送信トレイの [アーカイブ済み請求書] ページからダウンロードできます。

1日に2回  
 1日に1回  
 1週間に1回  
 2週間に1回  
 月に1回

アーカイブ開始時刻: 0 AM : JST (日本標準時) ①

すぐにアーカイブ

アーカイブ済み請求書ファイルを、ダウンロード待ち行列に送信する  
 アーカイブ済み請求書ファイルを、アーカイブの配信先 URL に送信する

アーカイブの配信先 URL:

URLを指定し、請求書アーカイブデータを自動で指定のURLに送信することが可能

アーカイブ済み請求書ファイルを、ダウンロード待ち行列に送信する  
 アーカイブ済み請求書ファイルを、アーカイブの配信先 URL に送信する

アーカイブの配信先 URL:

# 請求書の長期間アーカイブの設定

- ①アリバネットワークのホーム画面で、画面上部の「会社設定」のアイコンをクリックしてメニューを開き、「電子請求書ルーティング」を選択してください。
- ②「タックスインボイスおよびアーカイブ」タブのドキュメントの長期間アーカイブのセクションにてチェックボックスにチェック☑をいれてください。  
アーカイブデータの保存期間は11年2カ月間となります。

## ドキュメントの長期間アーカイブ

請求書の長期間アーカイブ機能を有効にすると、所在国の税務当局により必要とされている期間、タックスインボイスをアーカイブすることができます。Ariba Networkは公認のアーカイブプロバイダと連携して、国によって異なるアーカイブ期間をサポートしています。アーカイブされた請求書を監査のために表示およびダウンロードするには、[ドキュメントのアーカイブ] → [アーカイブ済みドキュメント] ページにアクセスしてください。



請求書の長期間アーカイブを有効とする。オプションのドキュメントアーカイブサービスについては、[条件およびポリシー](#)をご覧ください。長期間アーカイブがサポートされている国の一覧を参照するには、[ここをクリック](#)してください。